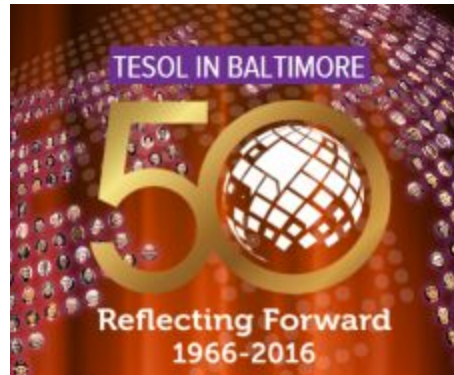


報道関係者各位

株式会社EnglishCentral
2016年4月7日

EnglishCentralの創設者兼CEOのアラン・シュワルツが世界最大の国際外国語教育学会『TESOL 2016』にて研究発表を行います。



英語学習サイト『EnglishCentral』を提供するイングリッシュセントラル(本社: 米国マサチューセッツ州、日本法人: 東京都台東区、日本法人代表取締役: 松村 弘典)は、4月5日から8日にかけて開催される世界最大の国際外国語教育学会『TESOL 2016』にて、『語学習得におけるスマホ・タブレットアプリとオンライン英会話の役割』の研究発表を行うことのお知らせします。

■発表者

・アラン・シュワルツ

EnglishCentral, Inc.の創設者兼CEO。AT&T研究所、SpeechWorks、及び Nuanceでの音声認識分野における経験は12年に渡る。大学卒業後、初めて就いた仕事は中国での英語教師。プリンストン大学でBAの修得後、ハーバード大学法学大学院でJ.D.を修得。

・デイヴィッド・デューブルバイス

EnglishCentralのカリキュラムディレクションを担当。TESOLの講師をトレーニングする資格を保有。英語教育のメディアEFL Classroom 2.0にてテクノロジーを使った英語教育に関する記事を多数執筆。

アラン・シュワルツは以下のように語っています。

「世界中の英語教育の権威の参加する『TESOL 2016』にて今年も研究発表を行えることはとても光栄です。EnglishCentralの動画コースとオンライン英会話は100ヶ国以上、400を超える教育機関ほかで200万人以上のユーザーに利用されており、そのうちの50万ユーザーは今年ローンチされたスマホ・タブレットアプリを活用しています。EnglishCentralのアプリを活用することで、授業外で各自のモバイル端末を使ってスピーキングや単語学習を行わせることができるようになり、学習時間が2倍になるという結果も出ています。(※1) いままで行われてきた教師の方々の授業にEnglishCentralを組み合わせることで、とても効果の高い学習体験が提供できると思っています。」

■TESOLについて

TESOLとはTeachers of English to Speakers of Other Languages (TESOL)という世界最大の英語教育に関する国際会議で、50以上の国々から1,000人以上の登壇者を招き、900以上の研究発表が行われるイベントで、7000人を超える教育関係者が参加しています。英語教育、バイリンガル教育、テクノロジーを用いた言語習得など、様々なトピックの研究発表が行われます。EnglishCentralによる研究発表の場所および日程は以下のとおりです。

- Baltimore Convention Center, One West Pratt Street, Baltimore, Maryland 21201
- 4/7(火) 16:00 Room #326

■イングリッシュセントラルについて

EnglishCentralは1万本を超える動画コンテンツとオンライン英会話を組み合わせた総合英語学習サービスです。独自の音声認識エンジンによる発音診断で日本人が苦手意識を持つ発音もしっかり伸ばせます。スマートフォン・タブレットアプリでも学習が行えるため、いつでもどこでも英語学習が可能です。日本放送協会主催日本賞入選、第12回日本e-Learning大賞総務大臣賞を受賞しました。

パソコン版 <http://ja.englishcentral.com>

iPhone版 <https://itunes.apple.com/jp/app/english-central/id927987414>

Android版 <https://play.google.com/store/apps/details?id=com.englishcentral.android.app&hl=ja>

■このお知らせに関するお問い合わせ：

株式会社イングリッシュセントラル PR担当: 横井

東京都台東区花川戸1-2-10 ハヤカワビル4F

Tel: 050-3802-3236

E-mail: info@englishcentral.com

※1 株式会社イングリッシュセントラル、「離脱者半減! あきっぽい学習者でも続けられた『EnglishCentral』英語学習アプリによるスマホ学習の調査報告」、2015年